

2014年9月8日

各 位

JX 日鉱日石開発株式会社

米国における CO2 回収プラントの建設着工について

当社（社長：三宅俊作）は、米国における CO2-EOR 事業のため、米国大手電力会社 NRG Energy, Inc.（以下「NRG」という。）との折半出資により設立した合弁会社を通じ、米国テキサス州の W. A. パリッシュ火力発電所（NRG が保有する米国最大の火力発電所。ヒューストン市南西部に所在）において、燃焼排ガスから二酸化炭素（CO2）を回収する世界最大規模のプラント（注）の建設工事に着手しましたので、お知らせします。

この CO2-EOR 事業は、W. A. パリッシュ火力発電所の石炭火力発電プラントから排出される燃焼排ガスから CO2 を回収し、老朽化した油田に圧入・貯留することにより、原油の飛躍的な増産と大気中に排出される温暖化ガスの低減を両立させることのできる画期的なプロジェクトです。

当社および NRG は、今般、この CO2-EOR 事業の主要装置である CO2 回収プラントの建設着工にあたり、現地において下記のとおり起工式を執り行ったものです。

この CO2 回収プラントは、2016 年第 4 四半期の稼働を予定しています。

当社は、原油の増進回収を当社が取り組むべき重点技術の一つと位置付けており、今後も新しい発想のもとで、地球環境と調和した事業展開に積極的に取り組んでまいります。

（注）CO2 回収プラントは、三菱重工業株式会社の米国事業会社である米国三菱重工業と米国の大手建設会社 TIC（The Industrial Company）によるコンソーシアムが建設いたします。日量 4,776 トンの CO2 回収能力は、石炭火力発電所の燃焼排ガスから CO2 を回収するプラントとしては世界最大となります。

記

1. 起工式の概要

(1) 場所 米国テキサス州ヒューストン市 W. A. パリッシュ火力発電所内

(2) 開催日 9月5日（金）

(3) 主要出席者

【米国側】

米国エネルギー省	ダニエル・ポネマン 副長官
テキサス州政府	デヴィッド・デューハースト 副知事
NRG Energy, Inc.	デヴィッド・クレイン 社長兼 CEO
Hilcorp Energy Company	ジェフリー・ヒルデブランド 会長兼 CEO

【日本側】

在ヒューストン日本国総領事館	高岡 望 総領事
JX ホールディングス株式会社	松下 功夫 代表取締役社長 社長執行役員
JX 日鉱日石開発株式会社	三宅 俊作 代表取締役社長 社長執行役員
三菱重工業株式会社	前川 篤 代表取締役 副社長執行役員
株式会社国際協力銀行	太田 康雄 米州地域統括
独立行政法人日本貿易保険	稲垣 史則 理事
株式会社みずほ銀行	阿部 雅俊 米州プロダクツ営業部部長

(4) 起工式の様子



写真：スピーチの様子（三宅 当社社長）



写真： Ground Breaking Ceremony（鍬入れ式）の様子

（左から）クレイン NRG 社長、ポネマン 米国エネルギー省副長官、三宅 当社社長、
デューハースト テキサス州副知事、ヒルデブランド Hilcorp 会長
（右から 2 人目）松下 JX ホールディングス社長

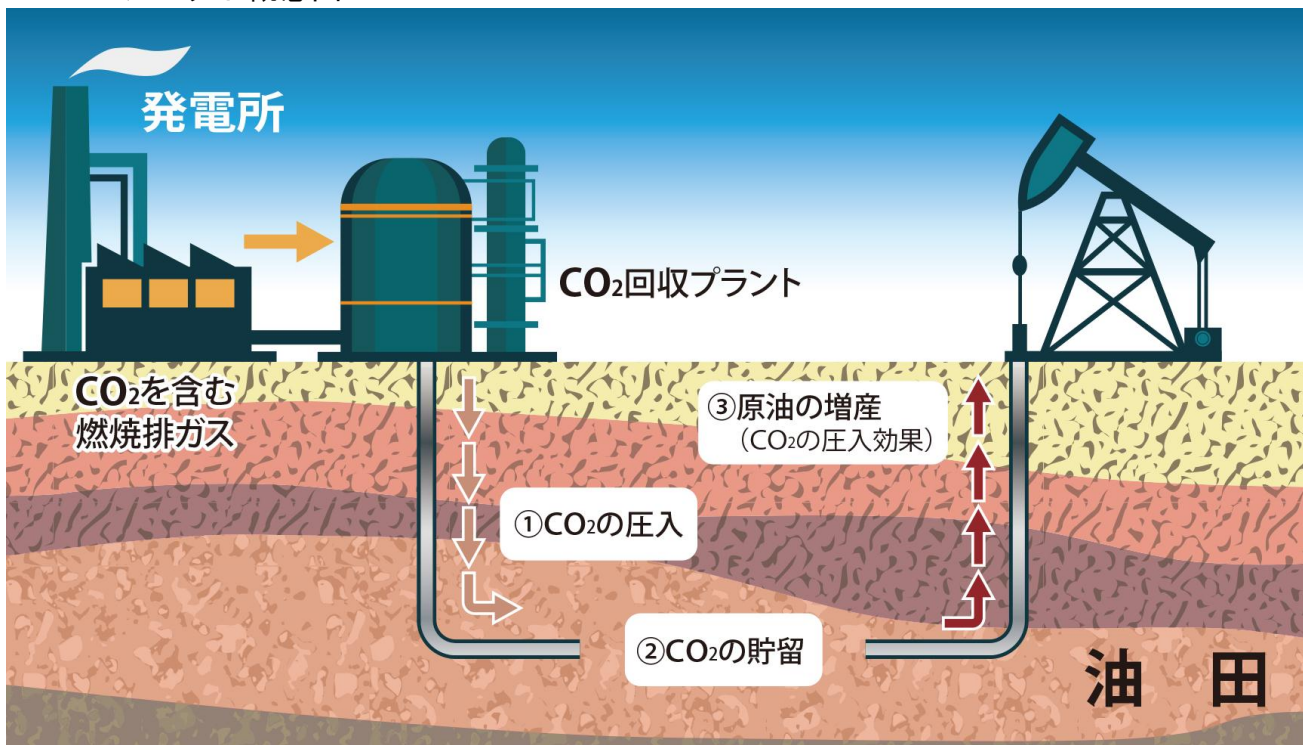
以上

【添付書類】

1. 地図



2. プロジェクト概念図



3. NRG Energy, Inc. の概要

- (1) 業態 米国大手発電・電力卸・小売業者
- (2) 設立 1989 年
- (3) 本社 米国ニュージャージー州およびテキサス州
- (4) 従業員数 約 10,000 人
- (5) その他 ニューヨーク証券取引所上場

4. ウェスト・ランチ油田の概要

- (1) 所在地 テキサス州ジャクソン郡
- (2) 発見 1938 年
- (3) 累計生産量 約 3 億 9000 万バレル
- (4) パートナー構成 Hilcorp Energy Company : 50% (オペレーター)
合弁事業会社 (Petra Nova Parish Holdings LLC) : 50%

以上